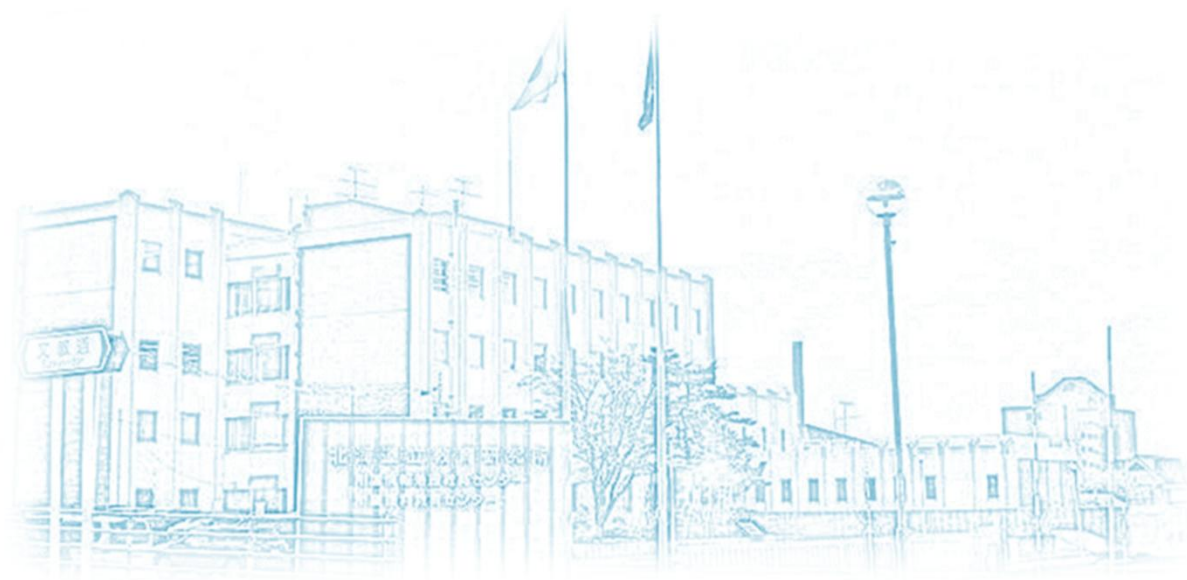




令和 7 年度

# 北海道立教育研究所運営懇談会

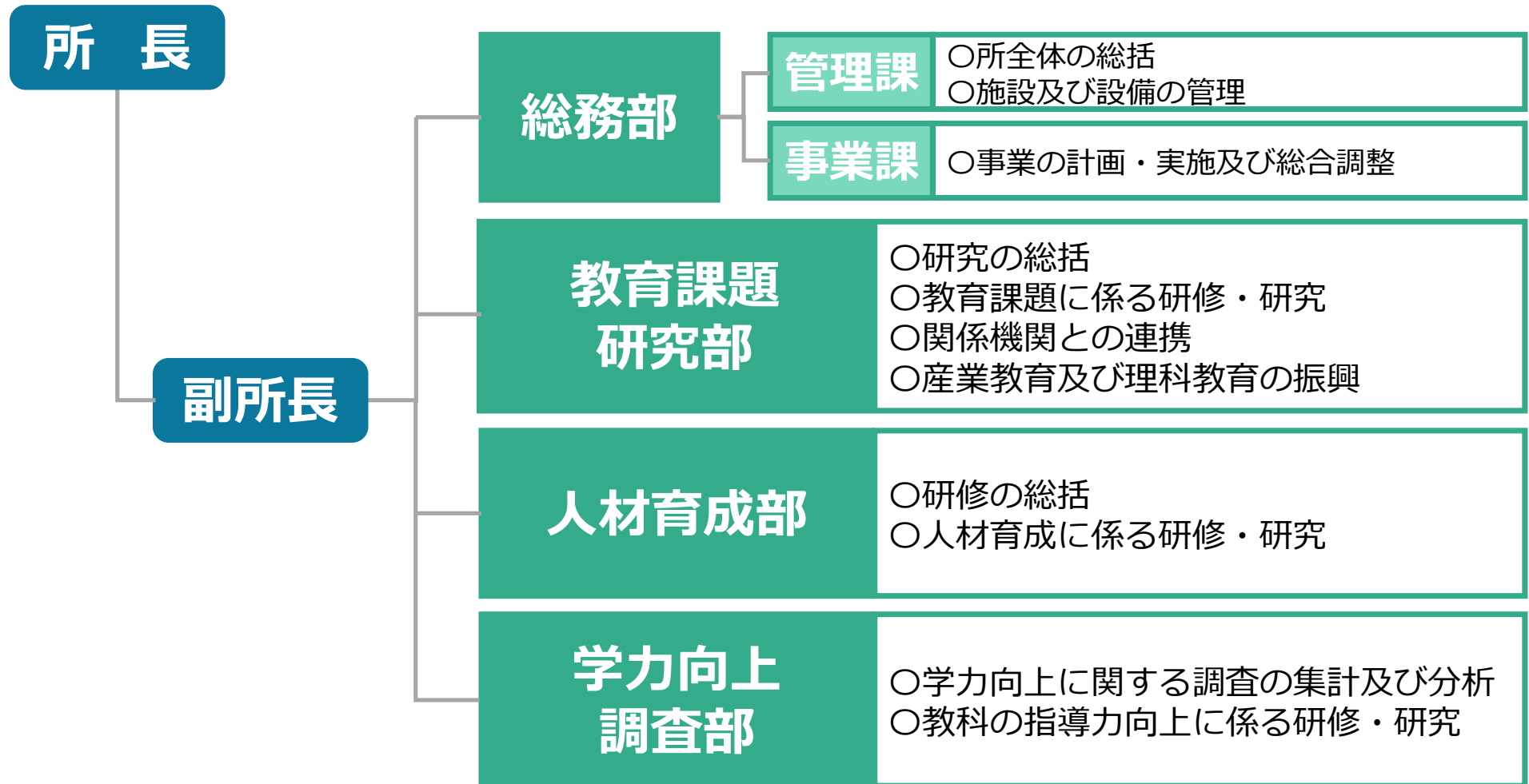


# 沿革

---

- 昭和24年 旧北海道立図書館（北1条西5丁目）  
の一室に設立
- 昭和32年 「北海道教育研究所条例」 制定
- 昭和44年 「北海道立教育研究所」に改称、  
現在地(江別市文京台)に新庁舎完成
- 令和 5年 附属情報処理教育センター及び附属  
理科教育センターを教育研究所に統合

# 組織機構



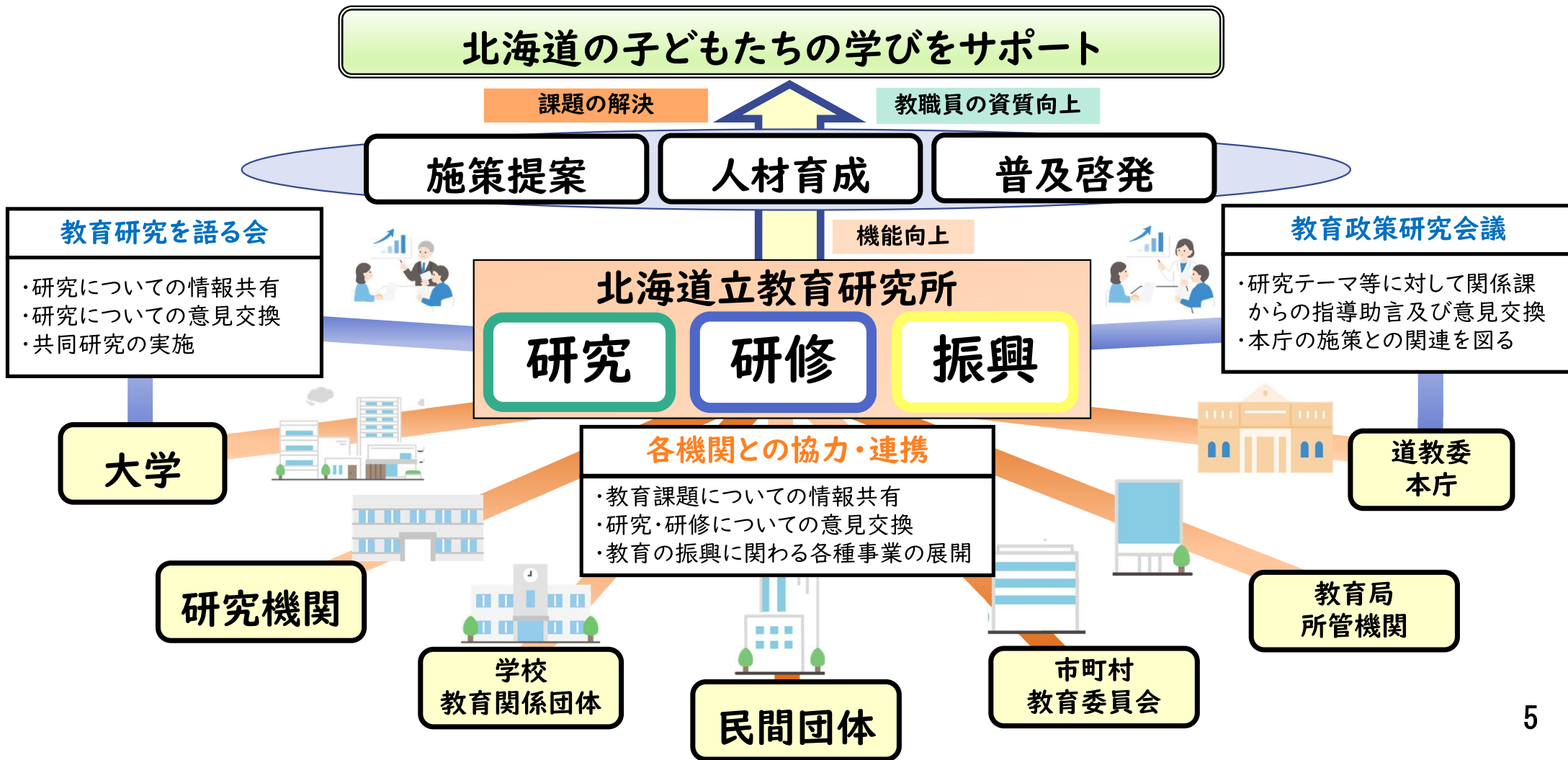
# 主な道研の取組

---

- 1 教育に関する専門的、技術的事項の調査研究
- 2 教育関係職員の研修
- 3 その他教育の振興を図るために必要な事業

# 本道教育の未来を支えるネットワーク型シンクタンク【道研】

～施策提案、人材育成、普及啓発という北海道立教育研究所のシンクタンクとしての機能を高めるためにネットワークを構築～



# 令和 7 年度事業報告

# 調査研究 プロジェクト研究

## ■ テーマ設定の考え方と研究の流れ

- (1) 道教委の**施策立案に資する**研究
- (2) 道教委が推進する**施策の実現に資する**研究
- (3) 教育現場における**実践の質の向上に資する**研究

前年度 (令和6年度)	今年度 (令和7年度)	次年度 (令和8年度)
リサーチ・チーム	プロジェクト研究	研究成果の普及
課題の明確化 ・試行	実践・研究成果 のまとめ	研究成果の 検証・改善

## ■ 研究テーマ

【プロジェクト研究】	(1)	(2)	(3)
・遠隔教育の推進に関する研究		○	○
・STEAM教育の観点による探究的な学習の充実に関する研究(全教連課題研究)		○	○
【リサーチ・チーム】 → 令和8年度プロジェクト研究につながる調査研究			
・日本語指導が必要な児童生徒への対応		○	
・生成AIの活用		○	○
・防災教育(津波)		○	○
【令和6年度研究成果の普及】			
・中学校技術・家庭(技術分野)「D 情報の技術」におけるプログラミングの研修(授業)教材の開発		○	○
・初任段階教員の資質能力の向上に向けた効果的な研修プログラムの開発に関する研究	○		

# 調査研究 プロジェクト研究

## ■プロジェクト研究「遠隔教育の推進に関する研究」

### (1) 研究のねらい（目的）

北海道の広域性、学校の小規模化を踏まえた遠隔教育の推進に向けた方策を提案する。

### (2) 研究の内容

#### 1) 遠隔教育の自走化に向けた取組

①遠隔教育を希望する**学校同士をつなぐ仕組みづくり**

②遠隔教育を実施する**メリットの普及啓発**

・同一管内の**近隣町村の小規模校の中学校同士**

・**同一中学校区内の小学校同士**

#### 2) 遠隔教育システムを活用した教員の授業力向上に向けた取組

①初任段階教員対象の**教員研修モデルの普及啓発**

# 調査研究 プロジェクト研究

## ■プロジェクト研究「遠隔教育の推進」

### (3) 研究の具体と成果

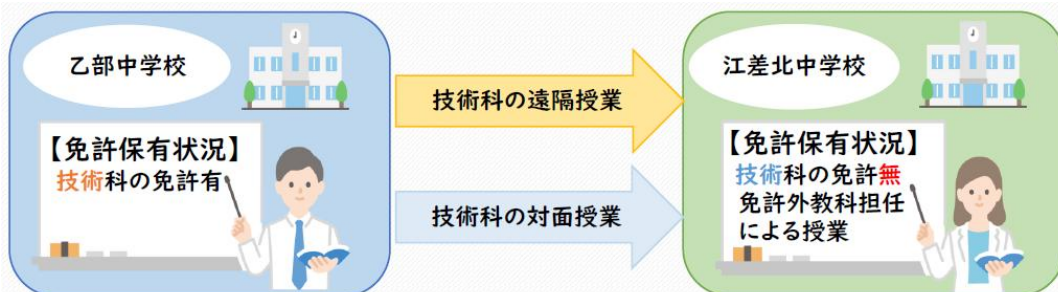
#### 1) 遠隔教育の自走化に向けた取組

#### ②遠隔教育を実施するメリットの普及啓発

- ・同一管内における近隣町村の小規模校の中学校同士  
(免外教員解消に向けた取組 江差町・乙部町)



【受信校の授業の様子】



**教科の専門性の高い教員が遠隔授業を行うことにより、教科の学びが充実するよう実践校の成果を全道に発信**

- ・ 普段の授業では体験できない教材を使用するなど、**専門性の高い授業を受けることにより、生徒の学びが充実**した。
- ・ 遠隔授業において、両校の生徒の考えを交流する機会が活発になり、考えが広がったり深まったりするなど学びの質が高まった。

- ・ 対面授業に比べて生徒の状況が把握しづらいことから、1人1台端末を活用するとともに受信校の教員との役割分担を明確にする必要がある。
- ・ 教員または生徒の移動に係る費用の負担や使用機材の簡素化など、**遠隔教育を持続可能な取組とするための方策を検討**する必要がある。

# 調査研究 プロジェクト研究

## ■プロジェクト研究「遠隔教育の推進」

### (3) 研究の具体と成果

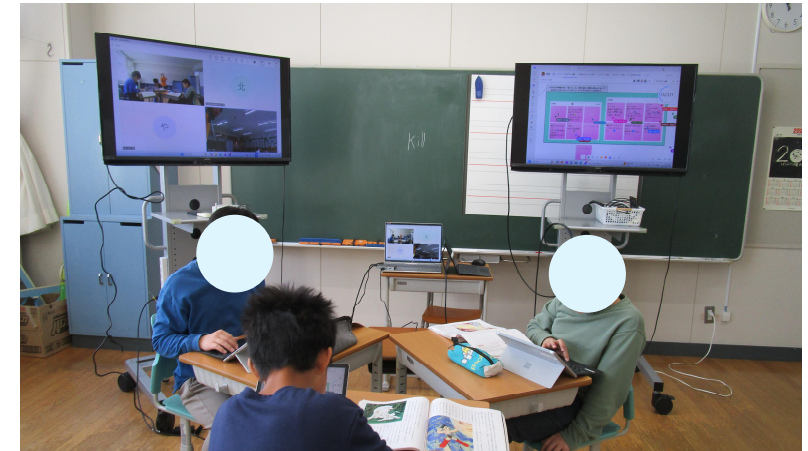
#### 1) 遠隔教育の自走化に向けた取組

#### ② 遠隔教育を実施するメリットの普及啓発

- ・ 同一中学校区内の小学校同士（中学校への円滑な接続）

授業実施校	実施日
【苫前町】苫前小学校、古丹別小学校	10月30日(木)
【礼文町】香深井小学校、礼文小学校	12月10日(水)
【今金町】種川小学校、今金小学校	12月17日(水)
【小平町】鬼鹿小学校、小平小学校	1月27日(火)

- ・ 教員間での指導の一貫性が図られたことにより、児童にとっても学習の進め方や授業の流れに対する戸惑いが軽減された。
- ・ 端末を使用した意見交流を工夫することにより、**教師が両校の児童の考えを把握し、児童の考えを広げること**につながった。



【遠隔合同授業の様子】

**従来の集合による交流学习に遠隔合同授業を加えることで多様な小小連携の在り方の提供**

- ・ 学校が効果的に遠隔合同授業を実施できるよう、中学校区の学校の実情に応じた遠隔合同授業の進め方を意図的に提案する必要がある。
- ・ 遠隔合同授業を日常的に実施できるよう、教育課程を共有するなど**計画的な実施に向けた方策を検討**する必要がある。

# 調査研究 プロジェクト研究

## ■プロジェクト研究「遠隔教育の推進」

### (3) 研究の具体と成果

#### 2) 遠隔教育システムを活用した教員の授業力向上に向けた取組

##### ①初任段階教員対象の教員研修モデルの普及啓発

教科	初任段階教員在籍中学校	中堅教員在籍校
国語	天塩町立天塩中学校、留萌市立留萌中学校、奥尻町立奥尻中学校	北海道教育大学附属旭川中学校
社会	天塩町立天塩中学校、奥尻町立奥尻中学校、ニセコ町立ニセコ中学校	北海道教育大学附属旭川中学校
数学	芽室町立芽室西中学校、足寄町立足寄中学校、奥尻町立奥尻中学校	北海道教育大学附属釧路義務教育学校
外国語	砂川市立砂川中学校、滝川市立明苑中学校、仁木町立仁木中学校	北海道教育大学附属旭川中学校



【キックオフミーティングの様子】

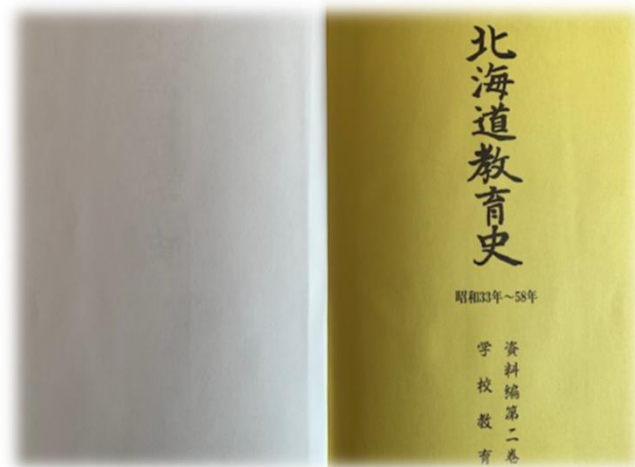
**対象教員の経験年数や教科、地域を想定した具体的なモデルを教育局や市町村教育委員会に提示して持続可能な研修モデルを目指す**

- ・遠隔教育システムを活用し悩みや困り感等を日常的に相談できる環境を提供することで、**初任段階教員同士の横のつながり**ができた。
- ・初任段階教員に助言をする機会を通して、これまでの実践等が整理されるなど、中堅教員の資質能力の向上につながった。

- ・本研修モデルのねらいに沿ってグループ内の交流が活性化するように、**ファシリテーターを配置**する必要がある。
- ・中堅教員が負担とならないよう、グループの人数やファシリテーターとの役割分担を明確にする必要がある。

# 調査研究 北海道教育史の編纂

- 北海道教育委員会OBに執筆協力者を依頼
- 「教育行財政」「学校教育」「社会教育」の3分野について調査研究、執筆
- 現在、第4期（昭和59年度～平成15年度）について執筆中
- 令和10年度に完成予定



# 研修 令和7年度のコンセプト

## 「新たな教師の学びの姿」を 実現する研修の推進

### 「新たな教師の学びの姿」

主体的な  
姿勢

継続的な  
学び

個別最適な  
学び

協働的な  
学び

課題解決型の研修

探究省察型の研修

# 研修 令和7年度事業の概要

区分	講座名・講座数	募集定員	受講者数 (延べ人数)	定員充足率 (%)
管理職研修	学校管理職研修1～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～ほか 10 講座	654人	582人	約89%
教科指導研修	教科研修（高校 国語）～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実～ほか高校専門研修を含む 26 講座	1,260人	660人	約52%
生徒指導研修	生徒指導研修1～「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組の推進～ほか 3 講座	252人	146人	約58%
課題対応研修	ミドルリーダー研修～これからの学校におけるミドルリーダーの役割～ほか 7 講座	201人	238人	約118%
合計	46 講座	2,367人	1,626人	約69%

# 研修 課題解決型研修の例

研修講座  
27

生徒指導研修Ⅰ～「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組の推進～

## 【研修日程・内容】

① 1h

7/1～8/18  
オンデマンド型研修  
「講義」

- 北海道におけるいじめ問題の現状と課題
- 学校におけるいじめ問題への対応のポイント



7/1～8/18  
事前課題

- いじめの防止・いじめ問題への早期対応に係る自校の現状や課題を把握

② 4h

9/3

遠隔型研修



「講義・演習・協議」

- ※管理職としての資質能力
- 自校の現状や課題について
- いじめ問題の積極的な認知と早期対応
- 自校のいじめ問題における改善の方策

※…新任管理職研修対象者が受講(午前1h)

9/3～11/5  
職場実践  
振り返り

- 遠隔型研修を踏まえた職場実践の取組
- 振り返り


講師 ①北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課  
②北海道教育大学札幌校教授 平野 直己 氏

# 研修 探究省察型研修の例

研修講座  
2

## 学校管理職研修 2 ～これからの時代に求められる管理職の資質能力～

### 【研修日程・内容】

① 2.5h 7/7 


遠隔型研修Ⅰ  
「講義・協議」

- これからの時代に求められる管理職の資質能力や学校組織マネジメントに係る講義
- これからの時代に必要な管理職の資質能力についてグループで交流・協議

7/8～  
8/20

事前課題Ⅰ

- 遠隔型研修Ⅰを踏まえた取組

② 6.5h 9/2～9/3 


× 2日 集合型研修  
「演習・協議・講義」

- 学校経営に係る協議を通して、自身の学校経営等に係る考え方を省察
- 演習・協議等で得た気づきを基に職場実践の取組を構想

9/3～  
11/20

事前課題Ⅱ

- 集合型研修を踏まえた職場実践の取組

③ 2.5h 

12/1

遠隔型研修Ⅱ  
「交流・協議」

- 職場実践の交流
- まとめ、振り返り

講師 ①②③ 北海道教育大学函館校教授（学校臨床） 田中賢一氏

# 研修 地域研修サポート事業

教育研究所・教育（研修）センター及び教育関係機関・団体等の依頼に応じて、道立教育研究所の職員を派遣して講義等を行うことにより、地域で実施する研修をサポートする事業

## 令和6年度からの変更点

1年間を通して行う校内研修に関するサポートも行う。



申込状況（令和8年1月26日現在 **74件**）

- ・上川教育研修センター（6月13日／集合型）  
「生徒指導の機能を生かした指導方法や組織的に対応する生徒指導・教育相談の在り方」
- ・占冠村立占冠中央小学校（9月2日／遠隔型）※校内研修  
「複式授業の基礎と他者理解について」

# 教育の振興

## 理科教育の 振興

移動理科教室

親と子の理科教室

児童生徒を対象に観察・実験等を通じて、理科に関する興味・関心を高める

## 産業教育の 振興

生徒実習システム

道内の全ての公立高等学校を対象に最先端の実習環境を遠隔で提供する

## 教育機関等との 連携

北海道教育研究所連盟

道内の教育研究所を対象に相互の連携を密にして、教育研究・研修の充実を図る

# 教育の振興

# 理科教育

## 移動理科教室

### <訪問先>

### <実施内容の一部>

- 196℃の世界
- 静電気を体験しよう
- 発電の仕組みを体験しよう  
(ほくでん エネゴンと連携)



管内	日程	参加市町村
石狩	5月	千歳市 (ほくでん エネゴン)
上川	5月	美深町、名寄市 (ほくでん エネゴン)
釧路	6月	弟子屈町、厚岸町
空知	6月	岩見沢市
オホーツク	7月	北見市
石狩	8月	札幌市 (拓北養護学校)
宗谷	9月	猿払村、稚内市
空知	9月	夕張市 (夕張高等養護学校)
後志	10月	真狩村、黒松内町、島牧村
胆振	11月	室蘭市、安平町 (ほくでん エネゴン)

**参加校数27校 参加者数 児童生徒 925名、教職員 149名**

- ・移動理科教室で理科を学んでから、理科の授業が前よりももっと楽しく、面白く感じられた。
- ・移動理科教室で**不思議に思ったことが知りたくて、家庭学習で調べた。**
- ・移動理科教室で体験した**理科の不思議、疑問などをこれからも楽しく学んでいきたい。**

# 教育の振興 理科教育

## 親と子の理科教室

道研、（公財）北海道科学文化協会、ネイパル砂川  
による3者共催

<実施内容> **参加数 夏季：10組（23名）、冬季：14組（32名）**

夏季：ヒグマ調査団、実験で学ぶ火山 など



野外散策の様子

火山噴火モデル実験



- ・森の中でヒグマの食べ物を探して、ヒグマが何をたべるのかを知ることができた。
- ・**子どもが学んでいる姿を近くで見ることができてうれしかった。**
- ・実験のように**親子で取り組む作業が楽しかった**ので、もっと増やしてほしい。

冬季：水の不思議、磁石の不思議 など



カラフルウォータータワー作成

磁力によって動くスライムを作成



- ・工夫して何度もチャレンジして、なぜそうなるのかを見付けることができて楽しかった。
- ・一緒に実験や体験ができて、**子どもが集中して取り組む姿が見られてよかった。**
- ・子どもが**失敗しても原因を考えたり、試行錯誤**したりしている姿が見られてよかった。

# 教育の振興

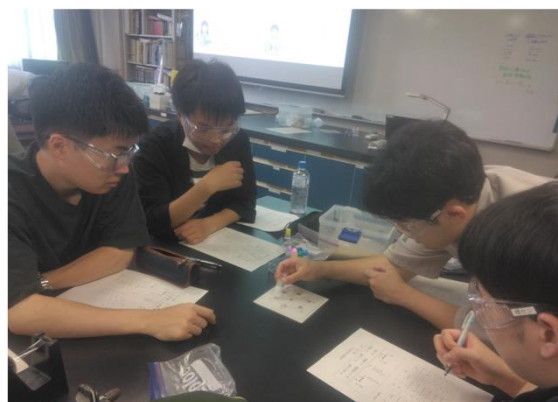
## 教志ゼミ

### <ねらい>

大学生を対象に教職の魅力啓発や資質向上を目的とした学習会型事業を実施することにより、北海道の教員を目指す大学生の教職志望意欲を高める。



液体窒素の演示実験を体験



探究活動の指導をロールプレイ



サイエンスカー搭載機器を体験

### <訪問先>

日程	大学	参加学年（人数）
7月	北海道文教大学	2 学年（30名）
8月	北海道教育大学札幌校	4 学年（28名）
10月	北翔大学	1 学年（61名）

- ・子どもに新しい発見を促して、**一緒に発見した喜びを共有することは素敵**だと思った。
- ・映像で子どもたちが興味を高める姿を見て、**自分も教師になって探究心を育てたい**と思った。
- ・教える体験をしてみて、上手く伝えられたときの幸福感がすごくよかった。

# 教育の振興 産業教育

## 生徒実習システム

### <メニュー>

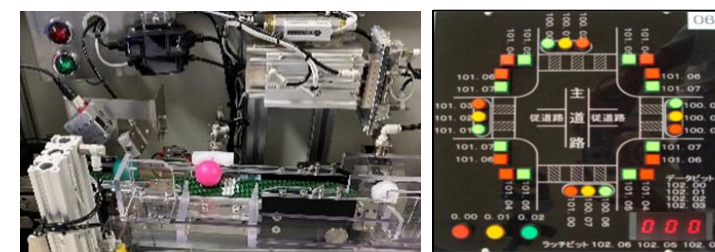
- IoT体験実習（FA制御、信号機制御）  
遠隔地から工場の自動生産システムや信号機の制御を体験
- ビジネスゲーム実習（戦略マネジメントゲーム）  
企業の経営者となって、材料購入－製造－販売という活動の一連の流れ及び関連する意思決定を体験
- 電子商取引実習  
ECサイトの構築や模擬の電子商取引を体験
- 3D CAD実習

ほか全7種

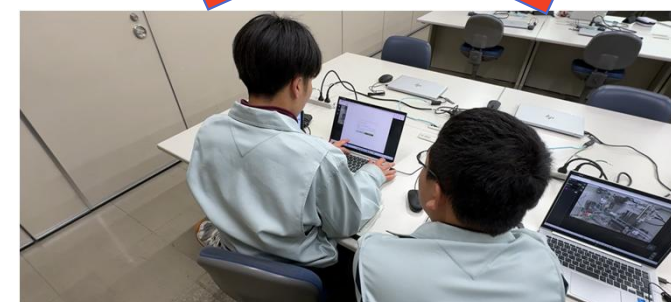
### <利用実績>

利用校数 27校

（R7.12月現在）



【道研側】



【学校側】

# 教育の振興

## 教育機関等との連携

### 北海道教育研究所連盟

#### ◆ 学習会

- ・ 所長研修会（令和7年8月7日）
- ・ 夏季・冬季所員学習会（令和7年7月11日、11月17日）

#### ◆ 研究発表大会

- ・ 令和7年度(2025年度)第80回北海道教育研究所連盟研究発表大会（胆振大会）兼第67回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会（令和7年8月28日、8月29日）

#### ◆ 共同研究

- ・ 研究主題  
「一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて」
- ・ 推進委員会（令和7年5月13日、10月21日、令和8年1月9日）

#### 【加盟機関数】

道立： 1  
管内： 14  
市立： 12  
町立： 21  
村立： 2  
大学： 1

計 51 機関

# 令和 8 年度事業計画

# 調査研究 プロジェクト研究

## ■ テーマ設定の考え方と研究の流れ

- (1) 道教委の**施策立案に資する**研究
- (2) 道教委が推進する**施策の実現に資する**研究
- (3) 教育現場における**実践の質の向上に資する**研究

前年度 (令和7年度)	今年度 (令和8年度)	次年度 (令和9年度)
リサーチ・チーム	プロジェクト研究	研究成果の普及
課題の明確化 ・試行	実践・研究成果 のまとめ	研究成果の 検証・改善

## ■ 研究テーマ (案)

【プロジェクト研究】	(1)	(2)	(3)
・ 日本語指導が必要な児童生徒への対応		○	
・ 生成AIの活用		○	○
【リサーチ・チーム】 → 令和9年度プロジェクト研究につながる調査研究			
・ 『新たな教師の学びの姿』の実現に向けた校内研修の取組に関する調査研究			
・ 企業と連携した探究的な学びの充実におけた調査研究			
・ へき地・小規模校における複式授業に関する調査研究			
【令和7年度研究成果の普及】			
・ 遠隔教育の推進に関する研究		○	○
・ STEAM教育の観点による探究的な学習の充実に関する研究(全教連課題研究)		○	○

**本庁関係課と協議・調整し、  
内容等を決定する予定**

# 研修 令和8年度のコンセプト

## 「新たな教師の学びの姿」を 実現する研修の推進

### 新たな教師の学びとは...

#### 主体的な姿勢

変化を前向きに受け止め、  
探究心をもちつつ自律的  
に学ぶことができる姿勢

#### 継続的な学び

求められる知識技能が  
変わっていくことを意  
識することができる学  
び

#### 個別最適な学び

新たな領域の専門性を身  
に付けるなど強みを伸ば  
すための、一人一人の教  
師の個性に即した学び

#### 協働的な学び

他者との対話や振り返  
りの機会を確保した学  
び

# 研修 令和8年度のコンセプト

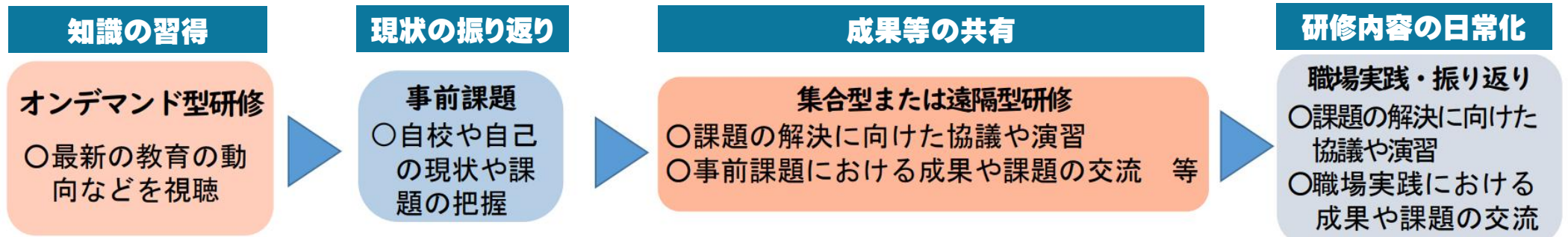
## 「新たな教師の学びの姿」を実現する研修の推進

### 道研研修講座が目指すところ

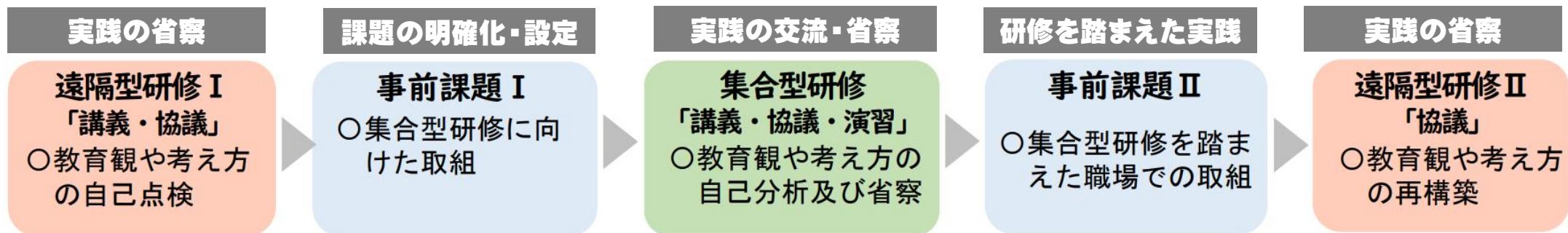
- 研修参加者を主語にした研修デザイン
  - ・ 参加者の現況の丁寧な想像・把握による「研修目標」  
「研修内容」「研修過程・方法」の検討
  - ・ 教員の力量形成・深化の過程に着目
  - ・ 「豊かな気付き」が醸成される学び

# 研修 令和8年度の研修スタイル

## <課題解決型の研修>



## <探究省察型の研修>



# 研修 令和8年度の研修講座

区分	講座名・講座数
管理職研修	学校管理職研修 1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～ほか 1 1 講座 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px 5px;">新規</span> <b>学校管理職研修11～学校と地域の連携・協働の在り方～</b> </div>
教科指導研修	教科研修（高校 国語）～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～ ほか専門研修を含む 2 6 講座 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px 5px;">新規</span> <b>高校ステップアップ研修 5 講座</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <span style="background-color: #f4a460; color: white; padding: 2px 5px;">廃止</span> <b>中学校教科レベルアップ研修 5 講座</b> </div> </div>
生徒指導研修	生徒指導研修 1 ～「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組の推進～ほか 4 講座 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <span style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px 5px;">新規</span> <b>生徒指導研修 4 ～自校の教育相談体制の充実に向けて～</b> </div>
課題対応研修	ミドルリーダー研修～これからの学校におけるミドルリーダーの役割～ほか 7 講座
合計	4 8 講座

# 研修 地域研修サポート事業

教育研究所・教育（研修）センター及び教育関係機関・団体等の依頼に応じて、道立教育研究所の職員を派遣して講義等を行うことにより、地域で実施する研修をサポートする事業

前年度からの  
変更なし



## 実施内容

学習指導、生徒指導、教科等専門教育等に関する研修における、講義、協議、演習、助言等のサポートを行う。

web会議システム  
を用いた遠隔型及  
び会場での集合型

実施  
方法

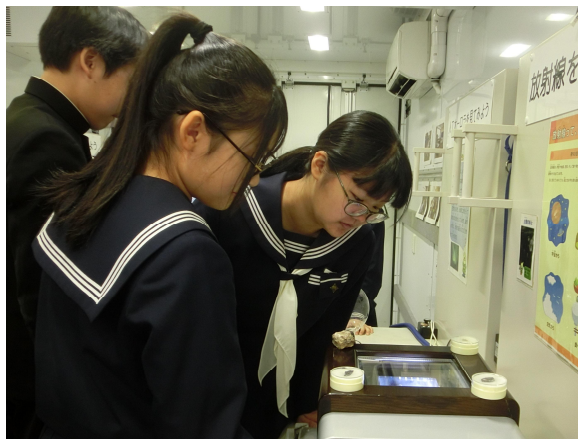


# 教育の振興

# 理科教育

## 移動理科教室

日程	管内
5月～11月	石狩・空知
5月	渡島
6月	檜山
7月	十勝
9月	根室
10月	留萌
11月	日高



**令和8年度は8管内で実施予定**

## 親と子の理科教室

### <実施内容>

観察、実験、ものづくり 等

### <実施時期>

令和8年10月

**次年度は、会場をネイパル北見に変更し、  
これまでと同様に3者共催で実施予定**

# 教育の振興 産業教育

## 生徒実習システム

### <活用促進に向けた取組>

#### ○道研研修講座における活用

- ・ 商業科教員の実践的指導力向上研修
- ・ 工業科教員の実践的指導力向上研修
- ・ 起業家教育の推進に向けた実践的指導力向上研修

#### ○生徒実習システム活用促進に向けた学校訪問

- ・ 教員研修、環境構築支援など



# 教育の振興 各地区の教育機関等との連携

## 北海道教育研究所連盟

### ◆ 学習会

- ・ 所長研修会（令和8年10月）
- ・ 夏季・冬季所員学習会（令和8年7月、11月）

### ◆ 研究発表大会

- ・ 令和8年度(2026年度)第81回北海道教育研究所連盟研究発表大会（釧路大会）兼第68回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会（令和8年8月27日～28日）

### ◆ 共同研究

- ・ 研究主題・・・現在検討中
- ・ 推進委員会（令和8年5月、10月、令和9年1月）

#### 【加盟機関数】

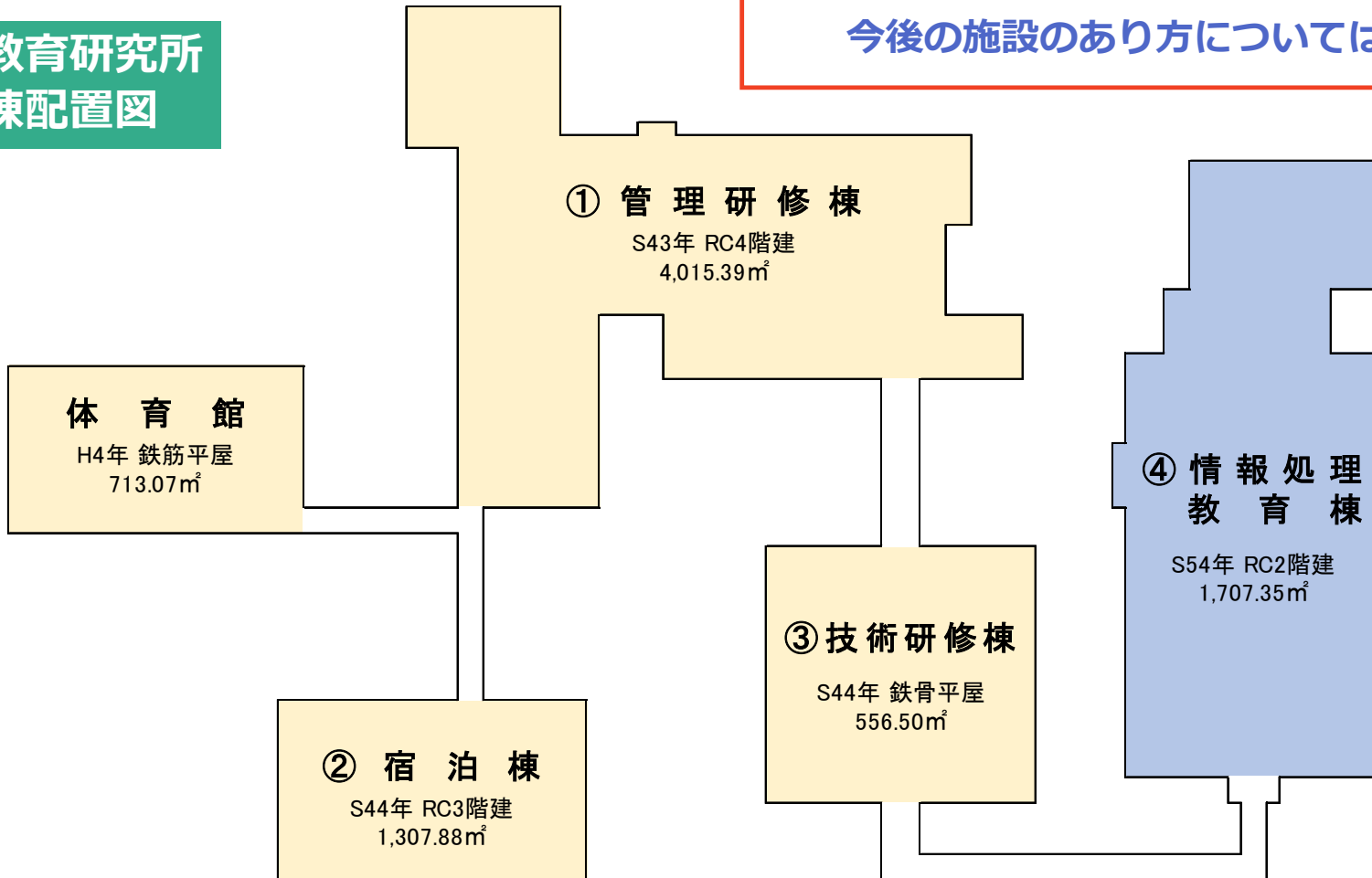
道立：	1
管内：	14
市立：	12
町立：	21
村立：	2
大学：	1

計 51 機関

# 施設概要

## 道立教育研究所 各棟配置図

今後の施設のあり方については未定



# 「新たな教師の学びの姿」を実現する研修の推進

## 新たな教師の学びの姿

### 「主体的な姿勢」

変化を前向きに受け止め、探究心をもちつつ自律的に学ぶことができる姿勢

### 「継続的な学び」

求められる知識技能が変わっていくことを意識することができる学び

### 「個別最適な学び」

新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した学び

### 「協働的な学び」

他者との対話や振り返りの機会を確保した学び

## 道研研修講座が目指すところ

- 研修参加者を主語にした研修デザイン
  - ・参加者の現況の丁寧な想像・把握による「研修目標」「研修内容」「研修過程・方法」の検討
  - ・教員の力量形成・深化の過程に着目
  - ・「豊かな気付き」が醸成される学び

## 道研の研修スタイル

### < 課題解決型の研修 >

今日的な教育課題などについて、**オンデマンド型研修で新たな知見を得るとともに、これまでの実践を整理する事前課題を遠隔型または集合型研修で交流**することを通して、解決の手立てを見出していきます。また、研修実施後に「職場実践、振り返り」を行うことで、研修内容の日常化を目指します。

#### オンデマンド型研修

- 最新の教育の動向などを視聴

#### 事前課題

- 自校や自己の現状や課題の把握

#### 集合型または遠隔型研修

- 課題の解決に向けた協議や演習
- 事前課題における成果や課題の交流 等

#### 職場実践・振り返り

- 課題の解決に向けた協議や演習
- 職場実践における成果や課題の交流

### < 探究省察型の研修 >

管理職の方を対象とした一部の研修講座で**遠隔型研修で自己点検するとともに、集合型研修で自己分析や省察**することを通して、受講者の教育観や考え方を再構築していきます。

#### 遠隔型研修Ⅰ

- 「講義・協議」
- 教育観や考え方の自己点検

#### 事前課題Ⅰ

- 集合型研修に向けた取組

#### 集合型研修

- 「講義・協議・演習」
- 教育観や考え方の自己分析及び省察

#### 事前課題Ⅱ

- 集合型研修を踏まえた職場での取組

#### 遠隔型研修Ⅱ

- 「協議」
- 教育観や考え方の再構築

## 今年度の研修講座の特色

### < 管理職研修 >

教育課題の解決に向けたマネジメント力等の資質能力の向上を図ります。

- ・学校における働き方改革の実現
- ・子どもの学びや教職員を支える学校DXの推進 等

### < 教科指導研修 >

小・中・高等学校における指導力の向上を図ります。

- ・授業力ブラッシュアップ研修（小学校）
- ・STEAM探究研修（高等学校） 等

### < 生徒指導研修 >

全ての児童生徒を対象とするプロアクティブな生徒指導の充実を図ります。

- ・「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組の推進 等

### < 課題対応研修 >

日本語指導や学級経営などの今日的な課題に対応する教員の資質能力の向上を図ります。

- ・帰国・外国人児童生徒等への支援の在り方
- ・学級経営研修～自身の教育観を仲間と見つめ直す時間～ 等

## 令和7年度(2025年度)北海道立教育研究所研修講座一覧

(令和8年1月30日現在)

区分・講座番号	講座名	略称	研修講座日程				受講者数(人)	
管理職	1 学校管理職研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～	学校経営	①遠隔 6/25(水)	②集合 9/22(月)	③遠隔 12/3(水)		33	
	2 学校管理職研修2 ～これからの時代に求められる管理職の資質能力～	資質能力	①遠隔 7/7(月)	②集合 9/2(火)～9/3(水)	③遠隔 12/1(月)		34	
	3 学校管理職研修3 ～校務DXの推進による学校における働き方改革の実現～	働き方	①オンデマ 7/25(金)～8/25(月)	②遠隔 9/9(火)			53	
	4 学校管理職研修4 ～子どもの学びや教職員を支える学校DXの推進～	DX	①オンデマ 7/23(水)～8/26(火)	②遠隔 9/10(水)			153	
	5 学校管理職研修5 ～安全な学校づくりのための危機管理体制の在り方～	危機管理	①オンデマ 6/4(水)～7/1(火)	②遠隔 7/15(火)			55	
	6 学校管理職研修6 ～学校危機における管理職のマネジメント～	学校危機	①オンデマ 6/24(火)～7/25(金)	②遠隔 8/8(金)			68	
	7 学校管理職研修7 ～質の高い教職員集団の形成に向けて～	集団形成	①オンデマ 9/9(火)～10/9(木)	②遠隔 10/22(水)			57	
	8 学校管理職研修8 ～学校全体の教育力の向上につなげる人材育成の在り方～	人材育成	①オンデマ 8/7(木)～9/18(木)	②遠隔 10/3(金)			55	
	9 学校管理職研修9 ～研修観の転換によるこれからの校内研修～	校内研修	①オンデマ 8/26(火)～9/25(木)	②遠隔 10/9(木)			57	
	10 学校管理職研修10 ～プロアクティブな生徒指導の創意工夫に向けて～	指導工夫	①オンデマ 9/30(火)～11/7(金)	②遠隔 11/21(金)			17	
教科指導	11-1	教科研修(高校 国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語) ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	国	①遠隔 7/11(金)	②遠隔 11/14(金)		12	
	11-2		地歴公	①遠隔 7/10(木)	②遠隔 11/13(木)		10	
	11-3		数	①遠隔 7/9(水)	②遠隔 11/12(水)		12	
	11-4		理	①集合 9/4(木)～9/5(金)	②遠隔 1/26(月)		12	
	11-5		英	①遠隔 7/8(火)	②遠隔 11/11(火)		13	
	12-1	教科指導力向上研修(中学校 国語、社会、数学、理科、英語) ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	国	①オンデマ 8/29(金)～9/4(木)	②遠隔 9/5(金)		15	
	12-2		社	①オンデマ 8/29(金)～9/4(木)	②遠隔 9/9(火)		19	
	12-3		数	①オンデマ 8/29(金)～9/4(木)	②遠隔 9/5(金)		18	
	12-4		理	①オンデマ 8/29(金)～9/4(木)	②遠隔 9/9(火)		17	
	12-5		英	①オンデマ 8/29(金)～9/4(木)	②遠隔 9/12(金)		18	
	13	中学校国語レベルアップ研修	国レベル	①オンデマ 6/26(木)～7/16(水)	②遠隔 8/5(火)	③遠隔 10/14(火)	④遠隔 12/9(火)	14
	14	中学校社会レベルアップ研修	社レベル	①オンデマ 6/27(金)～7/17(木)	②遠隔 8/6(水)	③遠隔 10/15(水)	④遠隔 12/5(金)	18
	15	中学校数学レベルアップ研修	数レベル	①オンデマ 6/24(火)～7/14(月)	②遠隔 7/30(水)	③遠隔 10/16(木)	④遠隔 12/11(木)	10
	16	中学校理科レベルアップ研修	理レベル	①集合 11/12(水)～11/13(木)	②遠隔 2/13(金)			(19)
	17	中学校英語レベルアップ研修	英レベル	①オンデマ 6/23(月)～7/11(金)	②遠隔 7/28(月)	③遠隔 10/17(金)	④遠隔 12/2(火)	8
	18	授業力ブラッシュアップ研修(小学校国語)	授業力(国)	①遠隔 8/22(金)				57
	19	授業力ブラッシュアップ研修(小学校算数)	授業力(算)	①遠隔 8/18(月)				92
	20	授業力ブラッシュアップ研修(小学校理科)	授業力(理)	①集合 10/23(木)～10/24(金)	②遠隔 2/6(金)			(32)
	21	授業力ブラッシュアップ研修(小学校英語)	授業力(英)	①遠隔 8/19(火)				115
	22-1	中学校技術分野 基礎研修講座 ～ここから始める「技術分野の授業づくり」～	技術基礎	①遠隔 6/4(水)				41
22-2	中学校技術分野 充実研修講座 ～実践発表から学ぶ「技術分野の授業づくり」～	技術充実	①遠隔 1/23(金)				38	
22-3	中学校技術分野 応用研修講座 ～チームで作る「統合的な問題の解決」の授業づくり～	技術応用	①オンデマ 6/16(月)～7/11(金)	②集合 7/28(月)～7/29(火)			16	
専門	23 STEAM探究研修(高等学校)	STEAM	①遠隔 10/2(木)	②集合 12/4(木)	③遠隔 1/26(月)		26	
	24 起業家教育の推進に向けた実践的指導力向上研修 ～「ビジネスゲーム実習(戦略マネジメントゲーム)」の活用～	起業家	①遠隔 7/24(木)～7/25(金)				13	
	25 工業科教員の実践的指導力向上研修 ～工業科目の授業づくりの進め方～	工業	①集合 9/11(木)～9/12(金)				6	
	26 商業科教員の実践的指導力向上研修 ～「体験的な学習活動」及び「指導と評価の一体化」の充実に向けて～	商業	①集合 9/10(水)～9/11(木)				9	
生徒指導	27 生徒指導研修1 ～「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組の推進～	いじめ	①オンデマ 7/1(火)～8/18(月)	②遠隔 9/3(水)			50	
	28 生徒指導研修2 ～不登校児童生徒の理解と不登校対応の在り方～	不登校	①オンデマ 6/2(月)～7/1(火)	②遠隔 7/17(木)			74	
	29 生徒指導研修3 ～児童生徒の心の危機を救う組織的かつ計画的な自殺予防～	自殺予防	①オンデマ 7/14(月)～8/22(金)	②遠隔 9/29(月)			22	
課題対応	30 ミドルリーダー研修 ～これからの学校におけるミドルリーダーの役割～	ミドル	①オンデマ 7/17(木)～8/21(木)	②遠隔 9/2(火)			57	
	31 へき地・小規模校教育充実研修 ～複式学級における学習指導の在り方～	へき小	①オンデマ 6/18(水)～7/3(木)	②遠隔 7/10(木)	③遠隔 12/10(水)		41	
	32 薬品取扱い研修【小・中・高等学校】	薬品	①集合 7/29(火)				24	
	33 薬品取扱い基礎研修【小・中学校】	薬品基礎	①集合 6/20(金)				19	
	34-1 日本語指導が必要な子どもへの支援の在り方①	日本語①	①遠隔 6/11(水)				23	
	34-2 日本語指導が必要な子どもへの支援の在り方②	日本語②	①遠隔 12/8(月)				22	
	35 学級経営研修 ～全ての児童生徒が安心して学ぶことができる学級経営～	学級経営	①集合 宗谷:7/29(火) 根室:7/31(木)	②遠隔 宗谷:1/13(火) 根室:1/14(水)			52	
						受講者合計(人) ※括弧内は予定者数	1,626	

※ 実施形態について  
 オンデマ:「オンデマンド型研修」道研から動画等を配信し、期間内の任意の日時で視聴していただく研修です。  
 集合:「集合型研修」道研または道研以外の会場に集合して実施する研修です。  
 遠隔:「遠隔型研修」ウェブ会議システム等を利用し、リアルタイム・双方向で実施する研修です。

オンデマンド型研修  
(動画等の配信)

遠隔型研修  
(リアルタイム・双方向で実施)

集合型研修  
(会場:道立教育研究所)

集合型研修  
(会場:道立教育研究所以外)

## 令和8年度(2026年度)北海道立教育研究所研修講座一覧(案)

(令和8年1月26日現在)

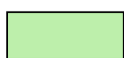
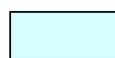
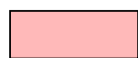
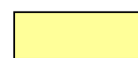
区分・講座番号	講座名	略称	研修講座日程			対象			
			①遠隔 6月下旬	②集合 9月下旬	③遠隔 12月上旬	小	中	高	特
管理職	1 学校管理職研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～	学校経営	①遠隔 6月下旬	②集合 9月下旬	③遠隔 12月上旬	○	○	○	○
	2 学校管理職研修2 ～学校経営におけるリーダーシップとマネジメント～	リーダー	①遠隔 7月上旬～中旬	②集合 9月中旬～下旬(2日間)	③遠隔 12月上旬	○	○	○	○
	3 学校管理職研修3 ～学校における働き方改革の実現～	働き方	①オンデマ 6月上旬～下旬	②集合・遠隔 9月中旬		○	○	○	○
	4 学校管理職研修4 ～子どもの学びや教職員を支える学校DXの推進～	DX	①オンデマ 7月上旬～8月上旬	②遠隔 9月上旬		○	○	○	○
	5 学校管理職研修5 ～安全な学校づくりのための危機管理体制の在り方～	危機管理	①オンデマ 6月上旬～7月上旬	②遠隔 7月中旬		○	○	○	○
	6 学校管理職研修6 ～学校危機におけるスクールロイヤーの活用～	ロイヤー	①オンデマ 6月下旬～7月下旬	②遠隔 8月上旬		○	○	○	○
	7 学校管理職研修7 ～質の高い教職員集団の形成に向けて～	集団形成	①オンデマ 9月上旬～10月上旬	②遠隔 10月下旬		○	○	○	○
	8 学校管理職研修8 ～学校全体の教育力の向上をめざす人材育成の在り方～	人材育成	①オンデマ 7月上旬～下旬	②遠隔 8月上旬		○	○	○	○
	9 学校管理職研修9 ～研修観の転換によるこれからの校内研修～	校内研修	①オンデマ 8月下旬～9月下旬	②遠隔 10月上旬		○	○	○	○
	10 学校管理職研修10 ～プロアクティブな生徒指導の創意工夫に向けて～	生徒指導	①オンデマ 6月上旬～下旬	②遠隔 7月中旬		○	○	○	○
	11 学校管理職研修11 ～学校と地域の連携・協働の在り方～	協働体制	①オンデマ 7月下旬～8月上旬	②遠隔 9月上旬		○	○	○	○
教科指導	12-1 教科研修(高校 国語) ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	国	①遠隔 7/21(火)	②遠隔 11/18(水)				○	○
	12-2 教科研修(高校 地理歴史・公民) ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	地歴公	①遠隔 7/22(水)	②遠隔 11/19(木)				○	○
	12-3 教科研修(高校 数学) ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	高教科 数	①遠隔 7/15(水)	②遠隔 11/17(火)				○	○
	12-4 教科研修(高校 理科) ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	理	①集合 9/3(木)～9/4(金)	②遠隔 1/20(水)				○	○
	12-5 教科研修(高校 英語) ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	英	①遠隔 7/14(火)	②遠隔 11/25(水)				○	○
	13-1 高校ステップアップ研修(国語) ～先輩教諭に学ぶ～	国	①オンデマ 1/13(水)～2/15(月)	②遠隔 2/19(金)				○	○
	13-2 高校ステップアップ研修(地理歴史・公民) ～先輩教諭に学ぶ～	地歴公	①オンデマ 1/13(水)～2/15(月)	②遠隔 2/18(木)				○	○
	13-3 高校ステップアップ研修(数学) ～先輩教諭に学ぶ～	高ステ 数	①オンデマ 1/13(水)～2/15(月)	②遠隔 2/16(火)				○	○
	13-4 高校ステップアップ研修(理科) ～先輩教諭に学ぶ～	理	①オンデマ 1/13(水)～2/15(月)	②遠隔 2/18(木)				○	○
	13-5 高校ステップアップ研修(英語) ～先輩教諭に学ぶ～	英	①オンデマ 1/13(水)～2/15(月)	②遠隔 2/17(水)				○	○
	14-1 教科指導力向上研修(中学校 国語) ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	国	①オンデマ 9/4(金)～9/10(木)	②遠隔 9/16(水)				○	○
	14-2 教科指導力向上研修(中学校 社会) ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	社	①オンデマ 9/4(金)～9/10(木)	②遠隔 9/16(水)				○	○
	14-3 教科指導力向上研修(中学校 数学) ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	中教科 数	①オンデマ 9/4(金)～9/10(木)	②遠隔 9/15(火)				○	○
	14-4 教科指導力向上研修(中学校 理科) ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	理	①オンデマ 9/4(金)～9/10(木)	②遠隔 9/17(木)				○	○
	14-5 教科指導力向上研修(中学校 英語) ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	英	①オンデマ 9/4(金)～9/10(木)	②遠隔 9/15(火)				○	○
	15 授業力ブラッシュアップ研修(小学校国語)	授業力(国)	①遠隔 8月上旬					○	○
	16 授業力ブラッシュアップ研修(小学校算数)	授業力(算)	①遠隔 8月下旬					○	○
	17 授業力ブラッシュアップ研修(小学校理科)	授業力(理)	①遠隔 8月下旬					○	○
	18 授業力ブラッシュアップ研修(小学校英語)	授業力(英)	①遠隔 7月下旬～8月上旬					○	○
	19-1 中学校技術・家庭(技術分野) ～教科調査官に学ぶ 技術分野の「はじめの一步」～	技術基礎	①遠隔 6月上旬					○	○
19-2 中学校技術・家庭(技術分野) ～実践から学ぶ 技術分野の「確かな一步」～	技術実践	①遠隔 12月3週目					○	○	
19-3 中学校技術・家庭(技術分野) ～統合的な問題の解決の実現に向けて「深める一步」～	技術応用	①遠隔 6月上旬	②集合 7月下旬(2日間)	③遠隔 12月3週目			○	○	
専門	20 STEAM探究研修(高等学校)	STEAM	①遠隔 8月下旬	②集合 10～11月	③遠隔 1月下旬			○	○
	21 起業家教育の推進に向けた実践的指導力向上研修 ～「ビジネスゲーム実習(戦略マネジメントゲーム)」の活用～	起業家	①集合 9月中旬(2日間)					○	○
	22 工業科教員の実践的指導力向上研修 ～工業科目の授業づくりの進め方～	工業	①集合 9/17(木)～9/18(金)					○	○
	23 商業科教員の実践的指導力向上研修 ～「指導と評価の一体化」に向けた授業改善及び生成AIの活用～	商業	①集合 6月中旬～7月下旬 (2日間)					○	○
生徒指導	24 生徒指導研修1 ～「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組の推進～	いじめ	①オンデマ 7月上旬～8月中旬	②遠隔 9月上旬			○	○	○
	25 生徒指導研修2 ～不登校児童生徒への支援の方向性～	不登校	①オンデマ 6月上旬～7月上旬	②遠隔 7月中旬			○	○	○
	26 生徒指導研修3 ～児童生徒の心の危機を救う組織的な自殺予防～	自殺予防	①オンデマ 7月中旬～8月下旬	②遠隔 9月下旬			○	○	○
	27 生徒指導研修4 ～自校の教育相談体制の充実に向けて～	教育相談	①オンデマ 6月上旬～7月上旬	②遠隔 7月中旬			○	○	○
課題対応	28 ミドルリーダー研修 ～これからの学校におけるミドルリーダーの役割～	ミドル	①オンデマ 7月中旬～8月下旬	②遠隔 10月上旬			○	○	○
	29 へき地・小規模校教育充実研修 ～複式学級における学習指導の在り方～	へき小	①オンデマ 6月中旬	②遠隔 7月上旬	③遠隔 12月中旬			○	○
	30 薬品取扱い研修【小・中・高等学校】	薬品	①集合 7/28(火)					○	○
	31 薬品取扱い基礎研修【小・中学校】	薬品基礎	①集合 6/26(金)					○	○
	32 帰国・外国人児童生徒等への支援の在り方	外国人	①遠隔 6月上旬	②遠隔 12月上旬				○	○
	33-1 学級経営研修(留管管内) ～自身の教育観を仲間と共に見つめ直す時間～	学級経営 (留管)	①集合 7月下旬	②遠隔 1月中旬				○	○
33-2 学級経営研修(日高管内) ～自身の教育観を仲間と共に見つめ直す時間～	学級経営 (日高)	①集合 7月下旬	②遠隔 1月中旬				○	○	

※ 実施形態について

オンデマ：「オンデマンド型研修」道研から動画等を配信し、期間内の任意の日時で視聴していただく研修です。

遠隔：「遠隔型研修」ウェブ会議システム等を利用し、リアルタイム・双方向で実施する研修です。

集合：「集合型研修」道研または道研以外の会場に集合して実施する研修です。

オンデマンド型研修  
(動画等の配信)遠隔型研修  
(リアルタイム・双方向で実施)集合型研修  
(会場：道立教育研究所)集合型研修  
(会場：道立教育研究所以外)